



令和3年11月25日  
中部地方整備局  
清水港湾事務所  
静岡県  
御前崎市  
牧之原市

## 御前崎港において、アマモ場の保全活動(海岸清掃)を実施します

～ 「ブルーカーボン」を活用した環境に優しいみなどを目指して ～

御前崎港西側の久々生(くびしょう)海岸に、静岡県指定の準絶滅危惧種であるコアマモやアマモ等が自生・群生しています。アマモ場などの藻場は、光合成により、地球温暖化の原因の一つであるCO<sub>2</sub>を吸収して成長し、炭素を隔離します。しかし、当海岸には、ゴミや流木が漂着しており、今後、台風等により漂着物が増加すれば、アマモ場に影響を及ぼす恐れがあります。

清水港湾事務所では、アマモなどの「ブルーカーボン」<sup>※1</sup>の活用による環境に優しいみなどづくりに向けて、関係機関と連携し、久々生(くびしょう)海岸の貴重なCO<sub>2</sub>吸収源であるアマモ場の保全活動(海岸清掃)を実施します。また、海岸清掃後は、キレイになった海がより豊かになることを願い、真鯛の稚魚の放流も行います。

なお、今回の海岸清掃活動は、当事務所、御前崎開港50周年記念事業実行委員会、御前崎港港湾建設工事安全協議会の共催で行います。

※1 植物は、光合成によって大気中のCO<sub>2</sub>を吸収し、炭素を隔離します。海草(アマモなど)や海藻、植物プランクトンなど、海の生物の作用で海中に取り込まれる炭素のことを「ブルーカーボン」と呼びます。

1. 日時 令和3年12月 2日(木) 13:30～15:00(予定)  
(予備日:12月3日(金)、14日(火)、15日(水))

2. 場所 久々生(くびしょう)海岸

3. 参加機関

国土交通省清水港湾事務所、静岡県、御前崎市、  
牧之原市、御前崎港港湾建設工事安全協議会  
(青木建設(株)、大石建設(株)、(株)大澤組、(株)御前崎  
工務所、河津建設(株)、共和建設(株)、五洋建設(株)、  
相良建設(株)、(株)鈴木土建、鈴与建設(株)、静和工業  
(株)、東亜建設工業(株)、東洋建設(株)、(株)橋本組、(株)  
不動テトラ、(株)古川組、(株)三井組、みらい建設工  
業(株)、りんかい日産建設(株)、若築建設(株) 以上20社)

5. 取材

- ・取材いただける報道機関の方は、12月1日(水)15時までに電子メールにてお申込みください。
- ・当日は、13:20までに久々生海岸内にお集まりください。
- ・カメラ等による撮影は可能です。なお、取材の際は、報道機関名が確認できる取材者証(腕章)等の着用をお願いします。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当日はマスク着用を徹底して頂くようお願いいたします。集合場所にて手指の消毒・検温を実施しますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。(38度以上の発熱がある場合、参加は遠慮願います。)

6. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、静岡県政記者クラブ、  
静岡市政記者室、港湾空港タイムス、港湾新聞社、日本海事新聞社、  
海事プレス、マリタイムデーリーニュース



出典:国土地理院地図



## 7. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所 御前崎港事務所  
櫻井（さくらい） 渡邊（わたなべ） Tel 0548-63-4840



久々生海岸におけるアマモ場の自生状況



海岸のごみ、流木の飛散状況

メール送信先 : [pa.cbr-shimizukouwan@mlit.go.jp](mailto:pa.cbr-shimizukouwan@mlit.go.jp)

(国土交通省 中部地方整備局 清水港湾港事務所 宛)

## 取材登録

※取材をご希望の場合は、事前に以下の記事事項を電子メールにて送付いただくようお願いいたします。(メール本文に直接入力し、送付いただく形で問題ございません。)

### 【記載事項】

#### 1. 報道機関名

#### 2. 取材者(複数名の場合は代表者)

- ①ご氏名
- ②ご役職
- ③取材人数

#### 3. 連絡先

- ①電話番号
- ②当日に連絡可能な携帯電話番号(3. ①と同じ場合は不要)

#### 4. 駐車場

アオキトランス株式会社 御前崎支店 指定駐車場

※駐車場を使用する場合は、駐車証をダッシュボードに掲示が必要です。

メール頂いた方には、駐車証を送付いたします。

申込締切: 令和3年12月1日(水) 15:00



出典: 国土地理院地図



出典: グーグルマップ